

プロフィール



名前	加藤 讓
所属部署	国立遺伝学研究所 系統生物研究センター 発生工学研究室
職種	助教
この研究室に入った日	2009. 9. 1.
出身地	神奈川県川崎市 (出生地は福島県福島市)
趣味	海釣り

インタビュー

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

マウスの卵形成、特に原始卵胞の形成と活性化に注目して研究を進めています。メスの生殖可能期間を保証する原始卵胞の形成（プールサイズの決定）と、制御された活性化機構（生殖可能期間の持続性）、を明らかにしていきたいと考えています。

Q2 研究室の仕事の進め方は？

相賀研究室という大きなデパート（商社）に所属していますが、基本的に個人経営（加藤商店）です。やりたいことは沢山ありますが、あまり手を広げられないのが悩みの種で、一緒に研究を進めてくれる学生さんが来てくれると“とても”嬉しいです。

Q3 研究者になったきっかけは？

研究者になりたいと思っていただけではなく、大学に入ったからには大学院へ進み研究の世界に触れてみたかった、という程度の動機でこの世界に入りました。研究の楽しさを自分で見出したいという思いを持ち続けた結果、現在に至ったという感じです。

Q4 三島での暮らしについて教えてください

自然が豊かで海も山も近く、海釣りが好きな私にとってはとても素晴らしい環境です。自然が豊かなのは遺伝学研究所所内も同様で、所内の木にバナナトラップをくくりつけてカブトムシやクワガタを息子と一緒に捕獲したりしています（いつか怒られるかもしれませんが）。とにかく人が少ないので、静かな環境で研究に打ち込みたい人にはオススメです。

Q5 今後の目標を教えてください？

近視的には論文を仕上げる事、次のポジションを得る事、豊かな研究費を獲得すること、等ですが（笑）、少し長い目で見れば、新たな現象を発見し、その謎を解いていくことです。その時は自分だけでなく、一緒に研究してくれる若い人にも喜びや苦悩と一緒に味わって貰いたいと思っています。そういう日が訪れることを願ってこれからも精進してゆくつもりです。

Q6 いつもひげ面なんですか（コワイんですけど）？

・・・ただの無精髭です。